

international linear collider



ILCに向けたSTF超伝導加速器の開発

高エネルギー加速器研究機構 早野仁司、STFグループ



内容

- 1. STF超伝導加速器
- 2. クライオモジュールにおける開発中の技術
 - (a) 伝導冷却超伝導Q マグネット
 - (b) 空洞型BPM
 - (c) ワイヤー位置モニター
- 3. STF加速器オプティクス設計
- 4. 大電力高周波分配とデジタル制御
- 5. まとめ





STF超伝導加速器



「量子ビーム」により入射部を建設、運転

Capture cryomodule



STF 加速器 入射部は2012年2月に完成

High-flux X-ray generation by inverse Compton scattering 10mA electron beam (40MeV, 1 m s, 5 H z) Laser accumulator by 4 mirror resonator head-on collision of beam and laser

Target flux: 1.3 x 1010 photons/sec 1%bandwidth



コンプトンX線生成実験が2012年3月から 2013年3月まで行われた。

その運転開始状況、X線生成実験結果は、 2012年と2013年年会において口頭発表で報告された。



Collision point

「量子ビーム」により入射部を建設、運転

Capture cryomodule

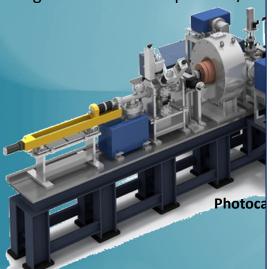


STF 加速器 入射部は2012年2月に完成

High-flux X-ray generation by inverse Compton scattering 10mA electron beam (40MeV, 1 m s, 5 H z) Laser accumulator by 4 mirror resonator

head-on collision of beam and laser.

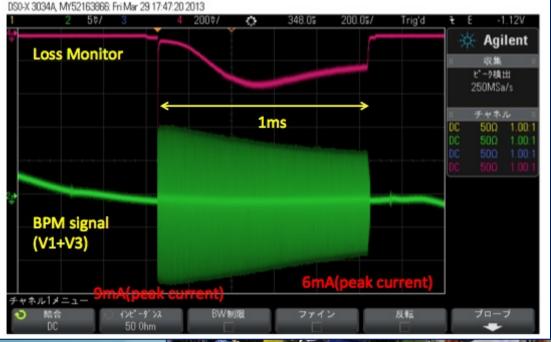
Target flux: 1.3 x 1010 photons/sed



コンプトンX線生成実験が 2013年3月まで行われた。

40MeV, 1ms, 7.5mA Beam Operation

Collision point



その運転開始状況、X線生成実験結果は、 2012年と2013年年会において口頭発表で報告された。

STF 加速器 計画図



Beam

Dump

STF Accelerator in 100m length STF tunnel.

Beam Energy:418MeV

Beam Charge: 2nC/bunch, 2437bunch, 0.9ms, 5Hz

Chicane 1

Beam current: 5.7mA in train
Bunch train: 369ns spacing

ILC-type Cryomodule (CM-1) (12m)
+

Chicane 2

half-size Cryomodule (CM-2a) (6m)

Capture Cryomodule (4m)

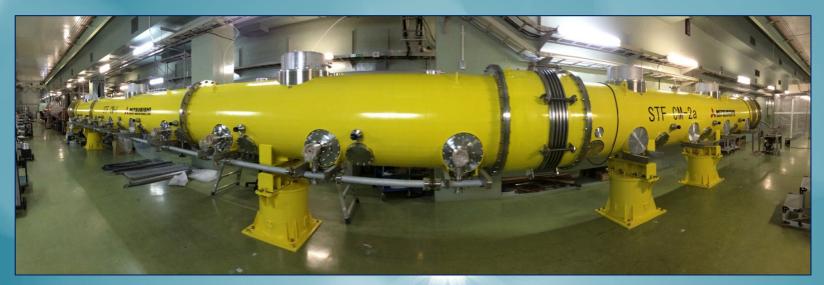
Photo-cathode RF-gun



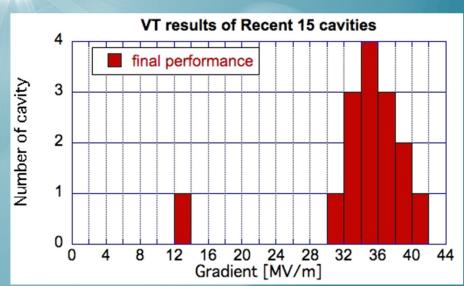
クライオモジュールにおける開発中の技術

クライオモジュール CM-1+CM-2a (18m長) の完成 iii

合計12台の超伝導加速空洞の入ったモジュール組立が2014年7月に完了している。



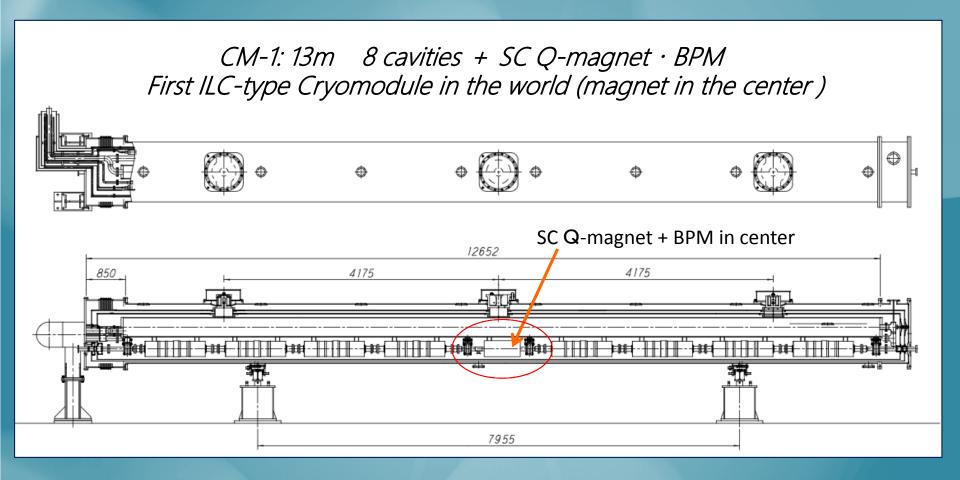
トンネル内で完成したCM-1を所定の 位置に移動・設置。 地上部設備で組み立てた4空洞モジュール CM-2aを地下に降ろし、CM-1に連結。 ヘリウム冷凍機コールドボックスと連結。 カップラー室温部を取付け、両端ビーム パイプ部を取付けて、完成。



内包する空洞の加速電界性能



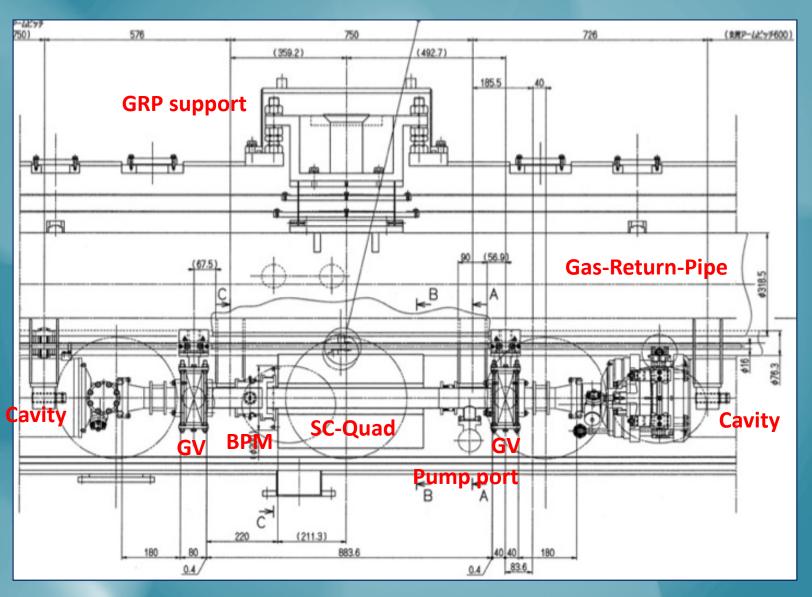
STF加速器のクライオモジュール



Study Item: effect on cavity gradient degradation,
conduction-cooled splitable superconducting Q-magnet
Beam position monitor,
alignment preservation,
heat load, etc.



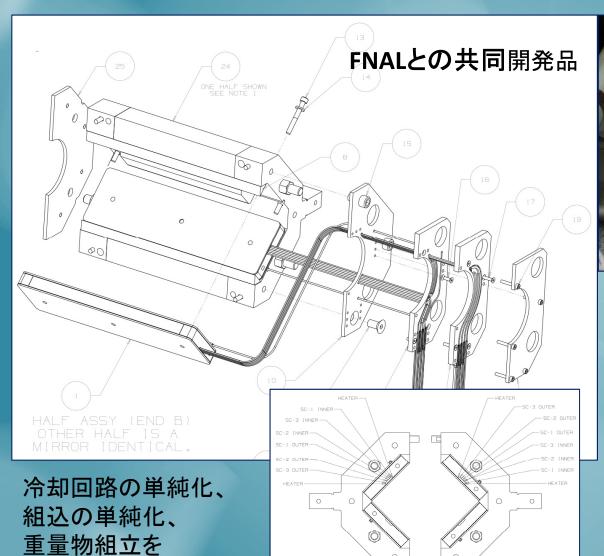
クライオモジュール 中央部



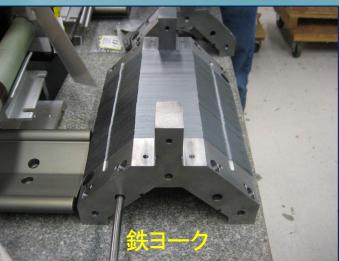


伝導冷却 分割可能超伝導4極マグネット

CORE AND COLLS END A VIONE NO B VIEW



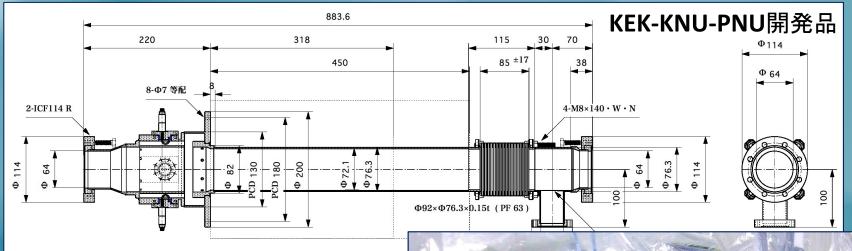
クリーンルーム外で

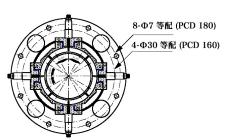






空洞型ビーム位置モニター :BPM





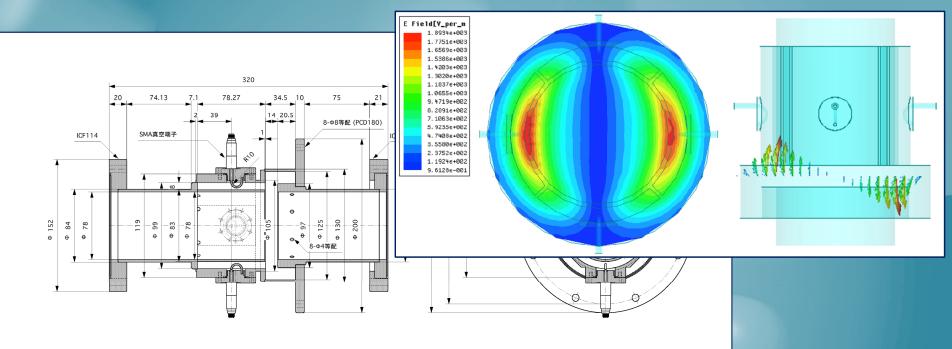
両側の空洞側ゲート弁の間に このBPMチェンバーを取付ける。

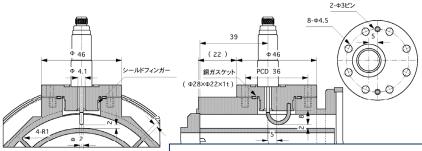
高清浄度局所クリーンルームを使用





空洞型ビーム位置モニター :BPM



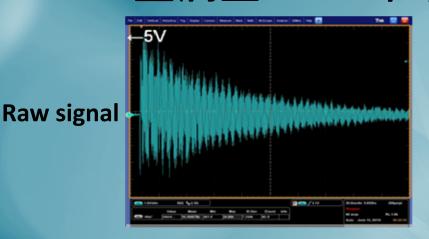


Re-entrant Cavity: f=2.04GHz With coupling waveguide QL ~ 300

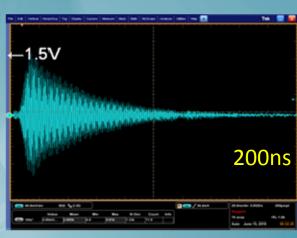


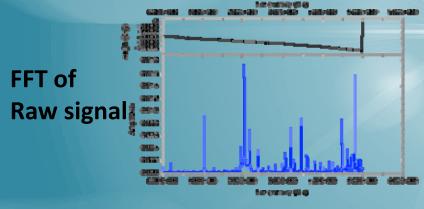


空洞型ビーム位置モニター :BPM

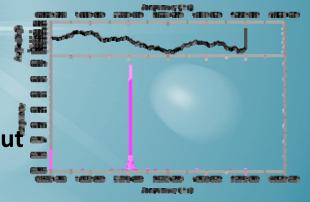


After 2.04GHz BPF





FFT of 2.04GHz BPF output



ビーム試験

ATF LINAC beam

1.3GeV single bunch

1 x 10¹⁰ electron/bunch

1.5Hz repetition

0.4µm 分解能を実証

BPM チェンバーへの超伝導4極マグネットの組込



クライオモジュール CM-1中央部の BPMチェンバーに4極マグネットを組込む

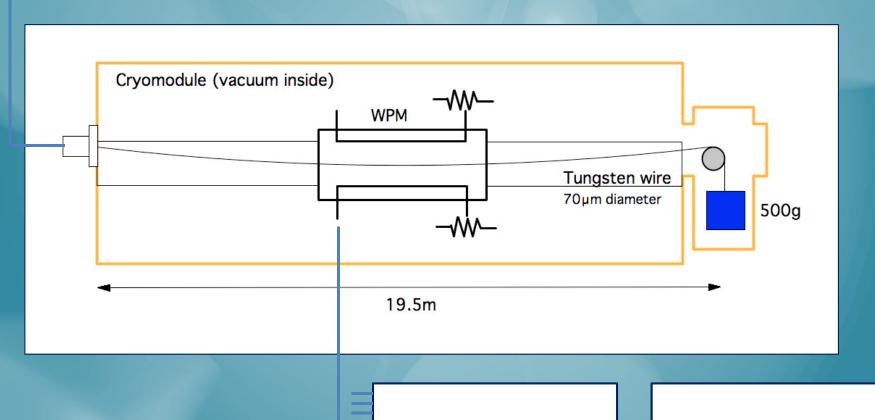
半割り4極マグネットを下側から 挿入



ボルトで締めこむ

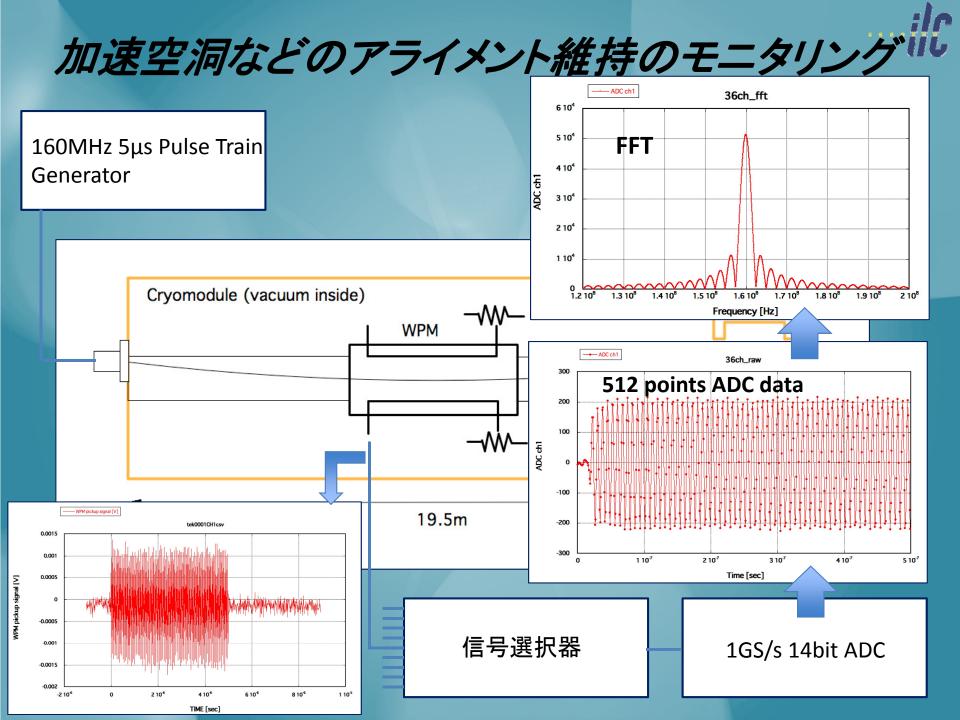
加速空洞などのアライメント維持のモニタリング

160MHz 5µs Pulse Train Generator

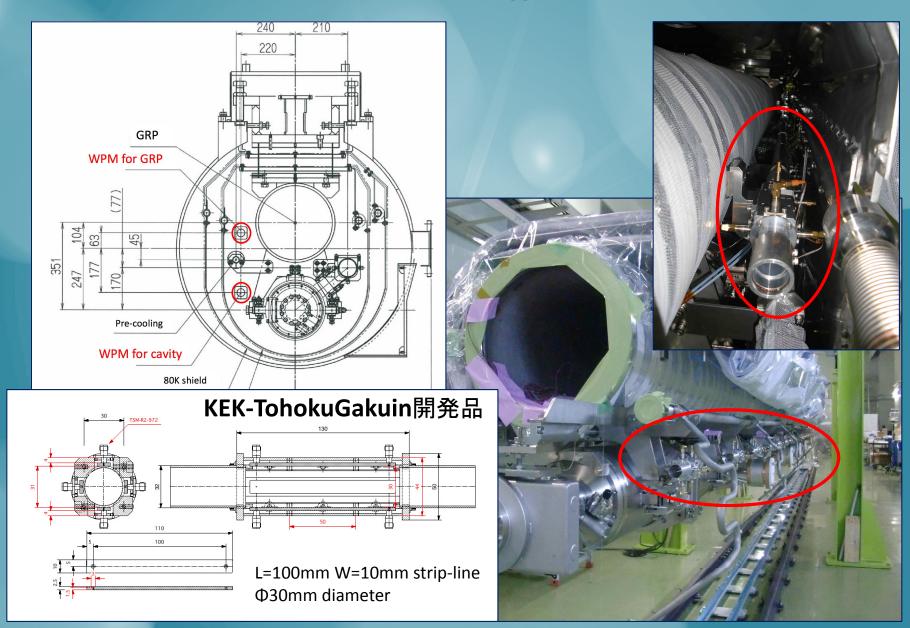


信号選択器

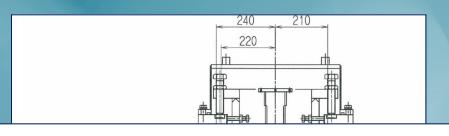
1GS/s 14bit ADC



加速空洞などのアライメント維持のモニタリング

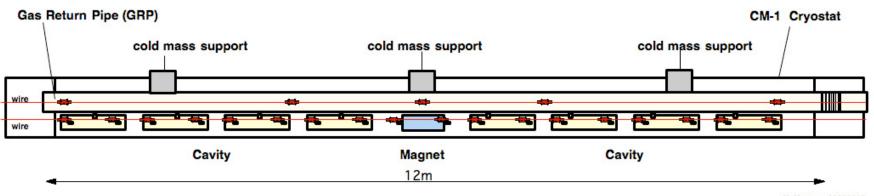


加速空洞などのアライメント維持のモニタリング

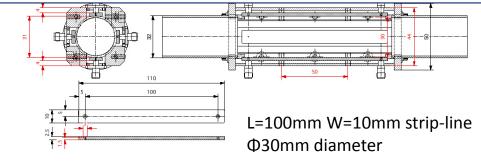




WPM installation position



H. Hayano 08022015

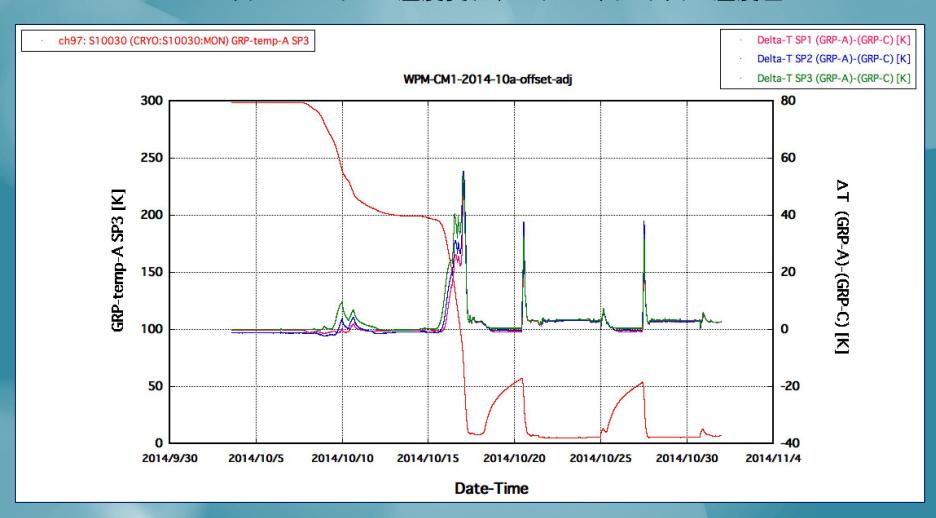






クライオモジュール冷却時の温度変化

ガスリターンパイプの温度変化、パイプ上面と下面の温度差

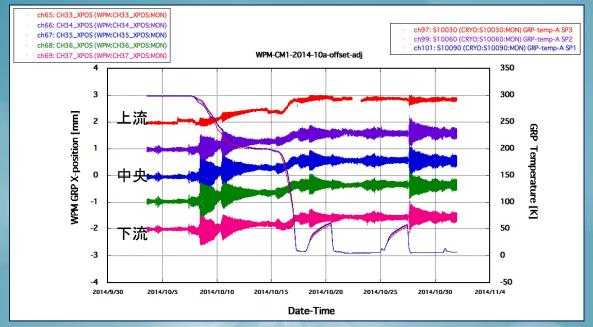


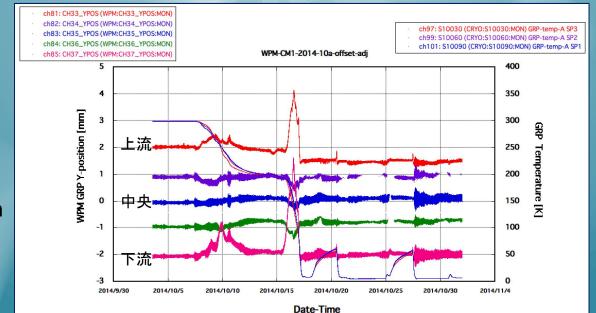
上下面の最大温度差 ΔT = 55K

クライオモジュール冷却時のGRP位置変化



X方向 相対変位 +400μm~+900μm



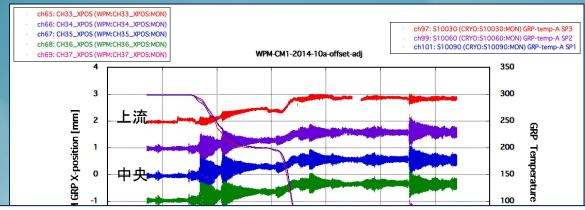


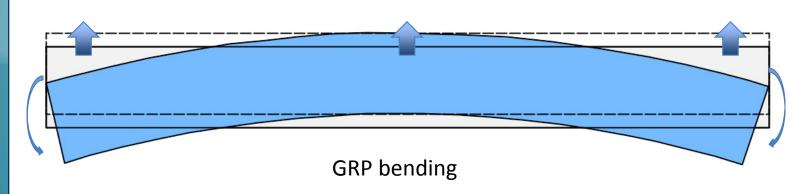
Y方向 相対変位 +200μm ~ -500μm

クライオモジュール冷却時のGRP位置変化

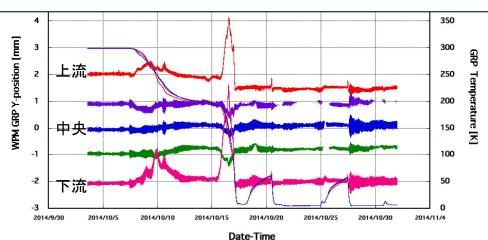


X方向 相対変位 +400μm~+900μm

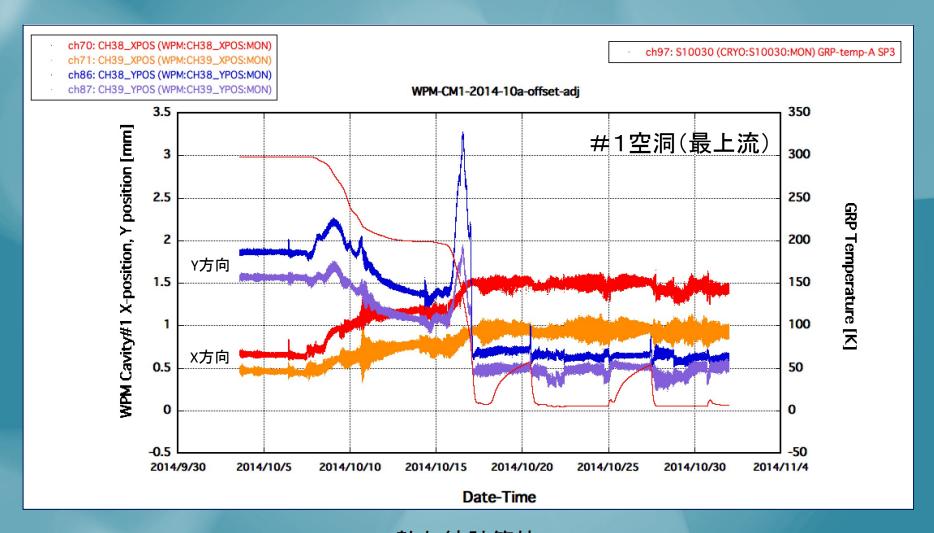




Y方向 相対変位 +200μm ~ -500μm



クライオモジュール冷却時の#1空洞の位置変化



X方向平均変位=650μm Y方向平均変位=-1175μm 熱収縮計算値 X方向=400μm Y方向=-1570μm

X方向Tilt変位=+400μrad Y方向Tilt変位=-400μrad

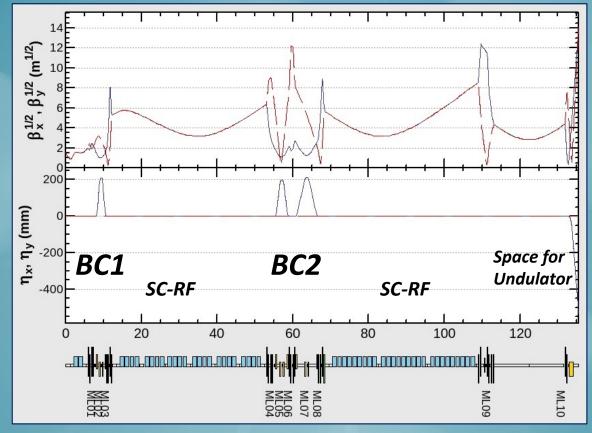


STF加速器オプティクス設計



将来構想に沿った光学系の設計

全長135mの Linac - FEL



Photocathode RF-gun 4MeV

1GeV

